結 ゆいっこ 盛岡新聞
ぼくらの復興支援 IWATE & YUICCO
vol.13 発行日／2012.8.7
編集・発行／いわてゆいっこ盛岡
〒020-0866
岩手県盛岡市本宮 5-10-20-120 号棟
Tel：090-4476-7083
Mail…… morioka@yuicco.com
Blog …… http://yuicco.com
Twitter …… iwate_yuicco

活動報告

ボランティア&ツアー …7/1（日）宮古市高浜&田老

7/1（日）に、宮古市のボランティア＆ガイドさん付きツアーに行ってきました。到着後、まず仮設住宅付近にて草取りをしました。残りあとわずか、というところで生憎の雨により、作業を中断することに。天気が回復する兆しもなく、そのまま仮設住宅でお昼ご飯を頂きました。宮古の方々と立命館大学ボランティアの方々が作って下さったおにぎり、大変美味しかったです。そして雨にも負けず、外では子供たちがスイカ割りをして盛り上がっていました。そのスイカを頂き、午後は、宮古市田老へガイドさん付きのバスツアーへ。津波で残った防潮堤に登り、田老の方から震災当時のお話を伺いました。そこで印象に残ったのは、「沢山の方々が支援してくださったおかげで、今の私達がある。だから、今度は私達が頑張っているところを見てもらって、ありがとうと言いたい。」とおっしゃっていた事でした。田老を訪れた私達が、そんな言葉に逆に元気を頂いたような気がしました。その後、田老で唯一残ったホテルへ震災当時の映像を見に行きました。見た瞬間、圧倒されました。知っているつもりで少しも知らなかった事実がそこにはありました。テレビや新聞では分からなかった生々しい真実。生き残った人達の声。今回の活動を通して、触れてみなければわからないと感じました。そしてゆいっこだけでなく、専門学生、社会人の方々と関われたことはとても勉強になりました。またこのような形で活動をしていきたいと思います。

今回は、学生、社会人、などなど様々な立場の方に参加して頂きました。専門学生の方々の感想を抜粋し、紹介させて頂きます。

●一度、震災後のボランティアで陸前高田に行く機会があり、がれきの撤去作業をした事がありました。今回の田老の状況を見て、がれきの撤去等は大方進んではいましたが、『まちづくり』という部分がまだ進んでいないように思えました。また、沿岸の方のお話しを聞くという機会がなかなか無かったので、今回のツアーは大変貴重なものだったと強く感じています。

●高い堤防に登って見た田老町の閑散とした風景、地元住民

◀高浜の仮設住宅付近の草取りの様子。悪天候の為、あと少し、というところで中断となりましたが、皆でがんばりました。

上／1～3階までむき出しの『田老観光ホテル』。ここで見たDVD映像に考えさせられたことが多くありました。
中／ガイドさんのお話を伺いながら回りの様子を確認しました。
左下／同行してくださった地元のガイドさん。ガイドさん自身も被災されているため、お話のひとつひとつが響きました。
右下／完璧、と言われた防波堤ですが、階段の手すりもぐにゃぐにゃです。自然の驚異を肌で感じました。

であるおばあちゃんから受けたガイド、下三階が崩壊し鉄骨が剥き出しとなっているホテル、そこで見た震災当日の悲惨な情景を映したビデオ。思わず笑うことも声を出すことも苦しくなりました。そんな中で「日本に生まれて良かった」とガイドの方は私たちに向かって何度も感謝の気持ちを伝えて下さりました。自分が携わった様々な支援やボランティアが少しでも向こうの方々の力となっていることを知り、私はこれからも何か自分たちでできることを探し、実行していきたいと心から感じました。

●被災した地域のまちづくりを進めていくためにも、現地で見たこと・感じたことを周りへ発信していく必要があると考えていますので、宮古はもちろん、様々な地域のボランティア活動に参加していきたいと思います。 最後に、私が昔から好きだった、田中菓子舗さんの“田老かりんとう”の復活も応援していきたいです。

●初めて被災地を訪れた時、かつて建物があったであろう場所や、防波堤がほとんど破壊されたのを見て、大きな悲しみを感じました。また、DVDを見て、津波や人々の悲鳴がテレビで見たものと違って、恐怖を感じました。しかしながら、1日1日を大切にして、次世代の為に復興しようと頑張っている姿を見て、自分も宮古の人々のように、頑張らなければならないと思いました。

●今回初めて被災後の宮古に足を運びました。地元の方や、同行して下ったソーシャルワーカーの方が教えて下さったのですが、メディアで取り上げない被災地の状況をお聞きして、自分でできることはなにか、改めて考えさせられました。田老では、地元の被災者のガイドさんがおっしゃっていた、「田老は明治、昭和、平成と甚大な津波に襲われてきた。その度に、自分より前の世代が、次の世代に同じ目に遭わせたくないと頑張ってきた。自分もそうしていきたいし、次の世代に（復興）というバトンをしっかり渡していきたい」と力強く話しているのを見て、絶対にこの人たちに同じ涙を流させてはいけないと思いました。最後にこの場をお借りして、このようなボランティアを企画・運営・サポートをしていただいた、ゆいっこ盛岡様にお礼申し上げます。

●田老の町の風景を見た瞬間、とても衝撃的で言葉が出ませんでした。ガイドさんの言葉に、とても感銘を受けました。そのためもっと復興のボランティアをしていきたいと心から思いました。自分がこれからどんな形で復興のボランティアに携わっていくのかはまだ分かりませんが、しっかりと行動で示していけるように頑張りたいと思います。今回はとても貴重な体験をすることができました。本当にありがとうございました。

●今回初めて被災地に行き、現状を知ることができました。震災からから1年が経ちますが、震災の爪痕はまだまだ残ってる現状でした。がれきや家の鉄骨がむき出しの状態で、私はただただショックでした。被災地がこういう現状なのに、私は内陸であまり不自由のない生活をしていたことに自分に苛立ちさえ覚えました。今回ボランティア活動を通して被災地少しでもなにかしてあげたいと思うようになりました。募金やボランティア活動に参加して少しでも元の形になるようにしていきたいですし、今回の体験をもっと多くの方に伝えていきたいです。

映画「黄色いライスカレー」上映会 …7/7（土） 盛岡市　しぇあハート村

みなさんは、映画「黄色いライスカレー」をご存知でしょうか。今回しぇあハート村にて、この映画を鑑賞しながら実際にカレーを作って交流しよう、という企画が持ち上がりました。まず私たちはカレーの材料の買い出しに行き、それからみんなでワイワイしながら作業を始めました。そしてこの映画の制作者の皆さん（監督の高橋さんをはじめ4名）が来て下さいました。このしぇあハート村には、学生さんたちが暮らしていて、その中のさつきちゃんもお手伝いにきてくれました。 皆さんで映画を鑑賞した後、カレーを頂きました。save iwate仰木さん手作りの可愛い七夕ゼリーの差し入れなどもあり、楽しく美味しい時間となりました。この映画は、岩手県内、盛岡市などが主なロケ地になっていて、盛岡に住む人にとっては特に親しみも持て、ノスタルジックな雰囲気で見どころ満載です。 もちろんカレー、じゃなくてライスカレーが出てきます。見た後は、あの缶に入ったカレー粉で作りたくなります。 また、この映画の興味深い制作秘話をご本人たちから伺うことができ、映画の主題歌を、監督でもあるご本人の高橋さんに弾き語りで歌って頂きました。そんなすてきな七夕の一時でした。ここしぇあハート村でこれからますます多様な活動が広がることを期待しています。

復興バザーでの「あねさんショップ」の物販手伝い …7/8(日) 盛岡市 アイーナ

右上／あねさんショップ、右上「復興バザー」全体の様子。
左上／あねさんショップのお手伝い。EM菌入りわかめ石鹸は大人気!!
下／宮古のイラストレーターえりさんの作品。

7/8(日)アイーナで開催された復興バザーで、宮古あねさんショップの売り子として、お手伝いをさせて頂きました。復興バザーということで多くの方々が販売を行なわれていました。あねさんショップでの販売ラインナップも豊富で、人気のEM菌入りわかめ石鹸をはじめ、「鮭の切り身Tシャツ」や宮古のイラストレーターえりさんの心温まる作品など沢山ありました。売れ行きも好調で、わかめ石鹸をご覧になり、「今日は、これを目当てに来ました!!」という方もいらして、少しずつ浸透してきているのかな、と実感することができました。また、会場内の雰囲気がとても和やかで、買い物をしながら談笑をしている方々も多く、楽しかったです。中でも岩手の仮面ライダー、鉄神ガンライザーが会場内を回りながら歩いた時には、子供たちだけでなく大人の皆さんも大盛り上がり。子供向けのイベントもあり、どの年代の人でも参加しやすいイベントだったと思います。そして、より多くの方があねさんショップや復興支援について知る良い機会になったと思います。『岩手愛』が感じられた一日でした。

草取り・灯籠移動 …7/21(土) 盛岡市 しぇあハート村

7/21は恒例のしぇあハート村での草取りでした。毎月第3土曜日に行ってますが、草の生命力は凄い。あっという間に緑のじゅうたん状態になってました。背中にストーブを背負ってるかと思うくらい、強い陽射しの中での作業でした。その後、シェアハウスに置いてもらっている3・11の灯籠や牛乳パックの移動をして終了。お昼は管理棟で、朝採りのきゅうりの即席漬けやモロキュウ、豚しゃぶ、茗荷が入った味噌汁、木津川さんのお母様が作った煮付けなどをごちそうになりました。とても美味しかったです。

江山寺位牌整理・草取り …7/22(日) 宮古市金浜

宮古市金浜の江山寺で、復旧のお手伝いをさせて頂きました。江山寺は、津波被害を受け、床も本道も浸水し流れてしまったそうですが、初盆を向かえられるということで、着実に寺も再生されていました。今回は草取りの活動でしたが、雑草だらけであった場所も見晴らしが良くなり、達成感がありました。地元の方々ともお話をすることができ、当時の様子なども細かく教えてくださいました。改めて、津波のすさまじさを感じるとともに、絶対に3.11を忘れてはいけない、今目の前で起こっている事実を受けとめて、共に進んでいきたいと思いました。「1人はみんなのために。みんなは1人のために。」の精神を大切にしていきたいです。

左／現在の江山寺の様子。少しずつ復旧されています。
中・右／江山寺の内部の様子。津波の被害は大きく、床も浸水し、流されたものも多くあったと伺います。残ったものを大切に保管されています。

左／草取りの成果で、景観がだいぶ戻りました。
右／今回ボランティアに参加されたみなさんと一緒に。お疲れさまでした。

支援金のご報告

いわてゆいっこ盛岡は、7月から「NPO法人青年協議会」の支援を受けております。熊本県宇土市を中心に、青少年育成に取り組んでいる「NPO法人青年協議会」は、東日本大震災後、活動拠点を東京に移して復興支援活動をメインに活動している団体です。全国からの募金、都内での街頭募金等、支援金を募り、東北3県の活動団体の運営を助けています。

震災への関心が薄れゆく今、これから息の長い復興支援活動をする為には引き続き皆さんのご支援が必要です。応援して下さる皆さんの思いに答えられる様、これからもゆいっこは精力的に活動をしていきますので、どうぞよろしくお願い致します。

■ NPO 法人青年協議会
http://seinen-kyougikai.jp/wp/

活動記録（H24年 7月）

日(曜日)	活動内容
1(日)	●ボランティア＆ツアー（宮古市高浜＆田老）
7(土)	●映画「黄色いライスカレー」上映会（盛岡市本宮　しぇあハート村）
8(日)	●復興バザーでの「あねさんショップ」の物販手伝い（盛岡市　アイーナ）
22(日)	●江山寺位牌整理・草取り（宮古市金浜）
29(日)	●仮設住宅の草取り（宮古市高浜）

おゆずりください!!

着物ハギレ

岩手県宮古市で被災された「あねさん」達が運営する手作り小物ショップ「あねさんショップ」では、商品製作の材料等のご支援をお願いしています。ご家庭で不要になった物がありましたら、ご協力をお願いします。募集内容は以下の物です。

●着物ハギレ生地（絹。仕立ててあるものはそのままで）
●着物帯（絹）●ミシン●小さいアイロン●布団皮の見本
●アクリル毛糸（新品・並太・明るい色）

お問い合わせ・送付先は<あねさんショップ>まで
住所／〒027-0025　岩手県宮古市実田1丁目7-29
電話／050-5539-9524

支援金をありがとうございました！

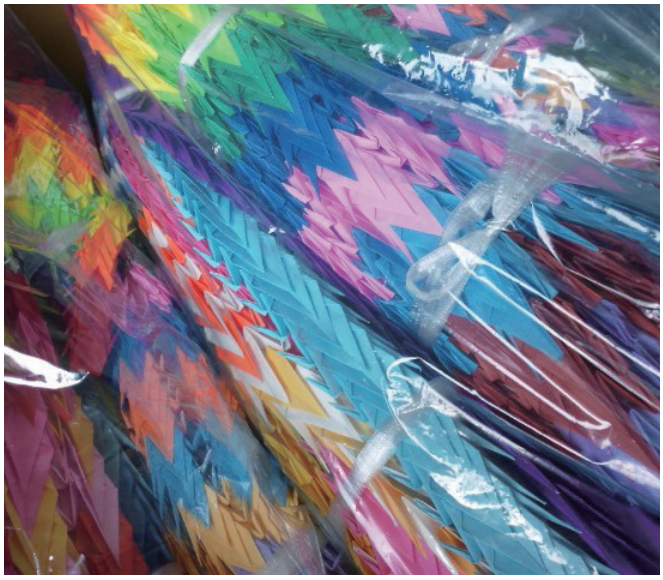
【支援金総合計】（H24.7.31現在）

¥1,660,390

※日本財団、赤い羽根共同募金、NPO法人青年協議会からの支援金を除いた金額となっております。

【支援金をいただいた方】（H24年7月）

近藤幸司 様（7/3、7/22）、ちばようこ 様（7/6）、しむらきょうこ 様（7/17）、金田美映 様（7/20）
※金田様からは千羽鶴もお預かりしました。３月11日の「祈りの灯火」の際には１万２千羽、今回は１万羽を折ってくださいました。ありがとうございました。



支援金を募集しております

被災地への支援活動に使う支援金を随時募集しております。無理のない範囲でご協力いただければと思います。振込は下記口座までお願いします。

◆ゆうちょ銀行
記号／18350　番号／6602251
名義／ゆいっこ盛岡支部　（ユイッコモリオカシブ）
※他金融機関からの振込の場合
店名／八三八　（ハチサンハチ）　店番／838
預金種目／普通預金　口座番号／0660225
名義／ゆいっこ盛岡支部　（ユイッコモリオカシブ）

◆郵便振替
番号／02200-1-110096　加入者／ゆいっこ盛岡支部

◆岩手銀行
店番／107　口座番号／2061680
預金種目／普通預金
名義／いわてゆいっこ盛岡　代表理事　藤原　慧矢
（イワテユイッコモリオカ　ダイヒョウリジ　フジワラ　ケイヤ）

「ゆいっこ盛岡新聞」は、
いわてゆいっこ盛岡ホームページより
PDFでご覧いただけます。
郵送をご希望の方は電話やメールにて
事務局にお知らせください。

助成 日本財団 The Nippon Foundation

災害ボランティア・NPO活動 サポート募金

この事業は赤い羽根
「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」
の助成を受け実施しています。